

EU Indicators

欧州経済指標コメント：8月英国消費者物価

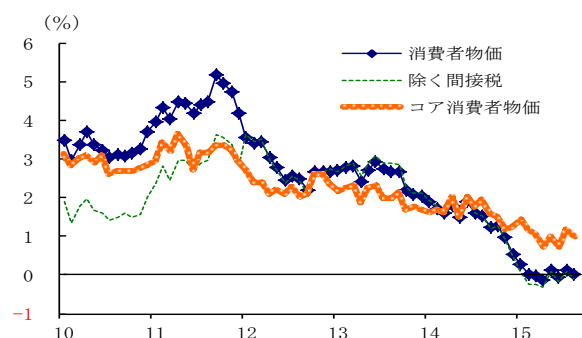
発表日：2015年9月16日(水)

～ゼロインフレに逆戻り～

第一生命経済研究所 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

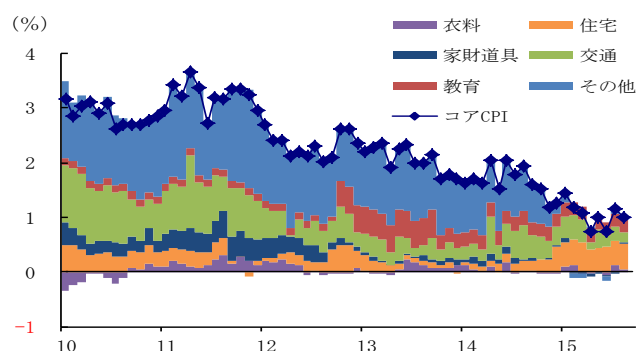
- 15日に発表された8月の英国の消費者物価は前年比ゼロ%と前月の同+0.1%から上昇率が鈍化した。今年2月以降はゼロ近傍でのデysinフレ環境が続いている。内訳は、食料品（前月：同▲2.7%→今月：同▲2.4%）、アルコール飲料（同▲2.4%→同▲1.9%）のマイナス幅が縮小した一方、ガソリン代を中心にエネルギー（同▲6.7%→同▲7.6%）のマイナス幅が拡大したほか、前月に加速したコア物価（同+1.2%→同+1.0%）の上昇率が再び鈍化した。
- 前月対比でコア物価の上昇率を押し下げたのは、衣料品（同+2.3%→同+0.7%）、医薬品（同+2.6%→同+1.1%）、輸送サービス（同+3.1%→同+2.5%）、書籍・文具（同+1.7%→同+0.1%）など。これらの多くは前月にトレンドを上回って上昇が加速したもので、前年の値引き商戦の反動増などで前月が押し上げられていた可能性がある。ただ、コア物価は全般的に底入れ傾向にあり、今後は前年同月の“裏”で上昇率が高めに出やすくなるため、徐々に水準を切り上げていくと予想。
- 9月10・11日のBOEのMPCでは前月に続き、マッカファティー委員だけが0.25%の利上げを主張。議事要旨では中国を始めとした新興国景気の下振れに対する警戒感を滲ませたが、英国景気の回復への自信は今のところ揺らいでいない。ひとまず様子見姿勢が続きそうだが、コア物価の上昇率が再加速し、新興国不安が後退すれば、利上げ派が徐々に勢いを増す展開が想定される。

■英国：消費者物価（前年比）



注：コア物価は食料・タバコ・アルコール・エネルギー除く
 出所：英統計局

■英国：コア消費者物価の要因分解（前年比）



出所：英統計局

■英国の消費者物価（%）

		2014				2015											
		3Q	4Q	1Q	2Q	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月			
消費者物価	(前期比)	0.0	0.1	-0.7	0.6	-0.0	-0.9	0.3	0.2	0.2	0.2	0.0	-0.2	0.2			
	(前年比)	1.5	0.9	0.1	-0.0	0.5	0.3	0.0	0.0	-0.1	0.1	0.0	0.1	0.0			
コア消費者物価	(前期比)	1.8	1.3	1.2	0.8	1.3	1.4	1.2	1.1	0.7	1.0	0.7	1.2	1.0			
	(前年比)	-0.9	-1.6	-2.9	-2.3	-1.7	-2.5	-3.3	-3.0	-2.8	-1.8	-2.2	-2.7	-2.4			
食料品	(前期比)	-0.5	0.4	-1.7	-2.2	1.2	-1.9	-1.3	-2.0	-1.6	-2.7	-2.2	-2.4	-1.9			
アルコール	(前期比)	8.1	7.9	7.5	6.0	7.7	7.3	7.6	7.5	6.4	5.9	5.7	5.2	5.0			
たばこ	(前期比)	0.3	-1.9	-8.4	-6.5	-5.8	-8.4	-8.8	-7.9	-6.9	-6.4	-6.1	-6.7	-7.6			
エネルギー	(前期比)	4.6	2.2	-2.6	-3.0	-2.1	-2.0	-2.4	-3.3	-2.8	-3.1	-3.2	-3.2	-3.4			
住宅用燃料	(前期比)	-4.9	-7.0	-15.5	-11.2	-10.5	-16.2	-16.6	-13.8	-12.3	-10.9	-10.5	-11.5	-12.8			
自動車燃料	(前期比)																

注：消費者物価の前期比は季節調整前。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。